第１号議案

２０１９年度事業報告

平成３１年４月１日から令和２年３月３１日までの事業概要は、次の通りです。

【１】社員総会

[１-１] 第６０回定時社員総会

（１）開催日　令和元年５月１７日　13:30～15:00

（２）開催場所　KKR ホテル東京　11F 会議室「白鳥の間」

（３）出席者　社員総数 22 名　出席社員 16 名（他、委任状提出社員６名）

（４）議案

第１号議案　平成３０年度事業報告承認の件

事業報告書に基づき説明があり、異議なく原案どおり可決承認された。

第２号議案　平成３０年度収支決算承認の件

計算書類に基づき説明が行なわれ、特に予算超過した会議費などの勘定科目についてその理由等が詳細に報告された。

その後、監事を代表して今川監事による監査報告がされ、議案について承認を諮ったところ異議なく原案どおり可決承認された。

第３号議案　２０１９年度事業計画承認の件

２０１９年度事業計画について説明が行われ、昨年発足した「転てつ装置技術委員会」を継続して活動していく旨の報告がなされた。また、国土交通省鉄道局主催の「鉄道分野での衛星測位を用いた位置検知技術等及びその応用に関する検討会」への委員の派遣を行う旨の説明がなされ、議案について承認を諮ったところ異議なく原案通り可決承認された。

第４号議案　２０１９年度収支予算承認の件

２０１９年度収支予算について、資料に基づき説明が行われた。収入は会費と雑収入の２項目が説明され、支出としては前年予算より増額した項目、減額した項目の説明がなされた。議長が議案について承認を諮ったところ異議なく可決承認された。

第５号議案　任期満了に伴う理事・監事選任の件

本総会終結の時をもって理事及び監事全員が任期満了となり、新たに理事 12 名、監事２名を選任する件について議長が意見を求めたが、特に発言が出なかったので大橋専務理事より事務局案が説明され、議長が承認を諮ったところ異議無く事務局案どおり可決承認された。

理事の新任は３名で他の９名は重任となる。また、監事は２名とも新任である。

○ 理事選任者

法 人 名	氏　　名	役　職	記 事
日本信号(株)	降 簇 洋 平	理　事	重 任
(株)京三製作所	戸 子 台 努	理　事	重 任
大同信号(株)	今 井　　徹	理　事	重 任
(株)一誠電機製作所	今 川 英 明	理　事	新 任
(株)大館製作所	中 田 直 文	理　事	重 任
(株)三工社	上 條 惠 司	理　事	重 任
信号器材(株)	前 島 敏 雄	理　事	新 任
(株)てつでん	山 本 正 弘	理　事	重 任
日本産業(株)	中 上 宗 嗣	理　事	重 任
(株)峰製作所	峰　　敏 晃	理　事	新 任
吉原鉄道工業(株)	小 宮 山 憲 一	理　事	重 任
(一社)信号工業協会	大 橋 成 行	理　事	重 任

○ 監事選任者

法 人 名	氏　　名	役　職	記 事
東邦電機工業(株)	村 田 章 臣	監　事	新 任
(株)西村電工	久 米　　聡	監　事	新 任

○ 退任する理事及び監事

法 人 名	氏　　名	役　職	記 事
信号器材(株)	遠 藤 芳 郎	理　事	退 任
東邦電機工業(株)	牧 野 純 男	理　事	退 任
西村電工(株)	江 面 修 一	理　事	退 任

以上をもって第６０回定時社員総会提出議案の審議は全て終了し、15 時に閉会した。

（５）２０１９年度表彰式

信号貢献賞は大同信号(株) 今井徹氏に、信号功労賞は会員企業７社７名の方々に表彰状の授与がおこなわれた。

＜受賞者名簿は[８-２]項　事業活動関係「信号工業協会表彰」を参照＞

（６）記念講演会

講師　国土交通省鉄道局　技術企画課長　川口　泉　様

「最近の鉄道分野における国土交通行政について」との演題で講演をいただく。

会員にとっては大変関心がある演題のため、協会役員・代表者の他、会員企業から大勢の聴講者が来場して盛会のうち終了した。

（７）懇親会

各行事終了後の懇親会は、国土交通省大臣官房技術審議官　江口秀二様、鉄道局から川口技術企画課長他技術企画課、国際課より大勢の方のご臨席を頂いた。

また、交通安全環境研究所　江角所長、石井理事、鉄道総合技術研究所　熊谷理事長、渡辺専務理事他多数のご来賓をお迎えして開催。

降旗会長の協会挨拶、江口技術審議官による来賓挨拶の後、戸子台副会長の乾杯発声で総勢１７０名余の参加者をお迎えして賑やかに開催された。暫し歓談の後、大同信号(株)の今井社長による中締め挨拶で閉会した。

［１-２］臨時社員総会

当協会の代表者（社員）の変更及び理事の辞任について、(株)てつでん及び、(株)三工社から会長宛てに届出があった。

一般社団法人の理事は法的に、社員総会の場で社員の中から選任する「決議事項」となっており、手続きを行うために定款第３章第23条（決議の省略）の規定に基づき、臨時社員総会（書面決議）を開催した。

（１）開催日　令和元年７月１７日（表決票の回答期限の日）

（２）社員の数と表決者　　社員総数２２社（会員代表者２２名）

（３）決議事項

第１号議案　理事辞任に伴う新理事補欠２名選任の件

補欠選任理事候補者		理事辞任届け提出者	
氏　名	会社名・役職	氏　名	会社名・役職
山 内　崇	(株)てつでん 代表取締役社長	山 本 正 弘	(株)てつでん 前代表取締役社長
宗方江一郎	(株)三工社 代表取締役社長	上 條 惠 司	(株)三工社 前代表取締役社長

本提案は社員２２名全員から表決票が提出され、社員全員から賛成の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条第１項（当協会定款第３章第23条）の規定に基づき、当該提案を可決する旨の総会の決議があったものとみなされた。

上記により、(株)てつでん 山本正弘氏及び、(株)三工社 上條惠司氏は同日付で理事を辞任された。

（４）追加議案

臨時社員総会（書面決議）の実施に合わせ、理事の辞任届けと同時に申請のあった、運営幹事の交代についても理事会承認案件ではあるが、書面決議に合わせ追加議案「第２号議案　運営幹事交代の件」として上程し承認された。

幹事交代の日付は令和元年６月24日となります。

新運営幹事		旧運営幹事	
氏 名	会社名・役職	氏 名	会社名・役職
大串 裕郁	(株)てつでん 取締役営業本部長	岡原 幹夫	(株)てつでん 取締役

【２】理事会

[２-１] 第１回理事会

第６０回定時社員総会に先立って２０１９年度第 1 回理事会が開催され、主に総会上程議案の審議が行われた。

（１）開催日　令和元年 5 月１７日　13:30～

（２）開催場所　KKR ホテル東京　11F 会議室

（３）出席者

理事総数 12 名、監事 2 名、計 14 名

出席理事 11 名、監事 2 名、計 13 名

（４）議案

第１号議案　平成 30 年度事業報告承認の件

第２号議案　平成 30 年度収支決算報告承認の件

第３号議案　2019 年度事業計画承認の件

第４号議案　2019 年度収支予算承認の件

第５号議案　任期満了に伴う理事・監事選任候補者案について

（５）審議及び決議

提出された 1 号～４号の決議議案は全て可決承認され、５号議案の理事・監事選任候補者案も異議なく承認され社員総会への議案付議が了承された。

[２-2] 第２回理事会

第６０回定時社員総会にて選任された理事・監事による２０１９年度第２回理事会が開催され、代表理事(会長・副会長)及び専務理事の選定が行われた。

また、3 月 20 日付けにて(株)京三製作所から「運営幹事会メンバーの変更届け」が提出されており、協会・規則第 8 章第 14 条の 3 項の規定により理事会の承認事項であるため議案として上程された。

（１）開催日　令和元年 5 月１７日　15:00～

（２）開催場所　KKR ホテル東京　11F 会議室

（３）出席者

理事総数 12 名、監事 2 名、計 14 名

出席理事 10 名、監事 2 名、計 12 名

（４）議案

第１号議案　代表理事(会長・副会長)及び専務理事選定の件

代表理事選定候補者

法 人 名	氏　　名	協会役職	記 事
日本信号(株)	降 簱 洋 平	代表理事・会長	重 任
(株)京三製作所	戸 子 台 努	代表理事・副会長	重 任

専務理事選定候補者

法 人 名	氏　　名	協会役職	記 事
信号工業協会	大 橋 成 行	専務理事・事務局長	重 任

第２号議案　運営幹事交代の件

新運営幹事会幹事		旧運営幹事会幹事	
氏　名	会社名・役職	氏　名	会社名・役職
くに さわ りょう じ 國 澤 良 治	(株)京三製作所 常務執行役員信号事業部長	兼 次 豊 明	(株)京三製作所 取締役

運営幹事会幹事交代の日付は令和元年６月１日となります。

○　運営幹事会委員長交代の件

退任する兼次豊明氏は運営幹事会の委員長を務めてまいりましたので、同氏の幹事退任に伴い規則第８章「運営幹事会」第１４条４項の規定「運営幹事会の委員長は、運営幹事会において互選する。」により、４月 25 日開催の運営幹事会にて互選の結果、日本信号(株)　取締役常務執行役員　藤原健氏が運営幹事会委員長に選任されました。
運営幹事会委員長交代の日付は令和元年６月１日となります。

（５）審議及び決議

第１号議案審議の結果、代表理事・会長に降簱洋平氏、代表理事・副会長に戸子台務氏、専務理事に大橋成行氏が選定され、同氏らは就任を承諾した。
また、第 2 号議案「運営幹事交代の件」は異議なく承認された。(株)京三製作所からの申し出の通り６月１日交代となる。

[２-３] 第３回理事会

２０１９年度第３回理事会が開催され、主に２０１９年度上期の事業報告、決算報告他関連議案の審議が行われた。

（１）開 催 日　令和元年 11 月７日（木）15:00～17:00

（２）開催場所　(株)京三製作所　東京事務所会議室
東京都千代田区丸の内 3-4-2 新日石ビル５階

（３）出 席 者

理事総数 12 名、監事２名、計 14 名

出席理事 11 名、監事２名、計 13 名

（４）議案

決議事項

第１号議案　２０１９年度上期事業報告承認の件

第２号議案　２０１９年度上期決算報告承認の件

第３号議案　令和元年秋の叙勲受章者の件

第４号議案　令和２年春の叙勲候補者推薦承認の件

第５号議案　協会代表者変更の件

報告事項

その他報告事項、下期行事予定

（５）審議及び決議

提出された１号～５号の決議議案は審議の結果異議なく承認された。

報告事項では「東京駅八重洲一丁目東Ｂ地区第一種市街地再開発事業」の進捗状況が詳しく説明された。

[２-４] 第４回理事会

第４回理事会が開催され、２０１９年度の事業報告及び決算見込み案、令和２年度事業計画及び予算案等の審議が行われた。

（１）開 催 日　令和２年３月 11 日（水）15:00～16:30

（２）開催場所　大同信号(株) 本社会議室
東京都港区新橋 6-17-19　新御成門ビル４階

（３）出 席 者

理事総数 12 名、監事２名、計 14 名

出席理事 12 名、監事２名、計 14 名

（４）議案

第１号議案　２０１９年度事業報告承認の件

第２号議案　２０１９年度収支決算報告(予測)承認の件
第３号議案　令和２年度事業計画(案)承認の件
第４号議案　令和２年度収支予算(案)承認の件
第５号議案　令和２年秋の叙勲候補者推薦承認の件
第６号議案　令和２年度信号貢献賞・信号功労賞候補者承認の件

（５）審議及び決議

提出された１号～４号の決議議案は審議の結果、異議なく承認された。
第５号議案は既に２月 17 日に国土交通省鉄道局に推薦書類を提出済のため事後報告となるが、(株)京三製作所の元社員１名の推薦候補者について承認を得た。
第６号議案の令和２年度信号貢献賞・功労賞候補者承認の件は功労賞９社９名を候補者として推薦することが提案され、異議なく承認された。
信号功労賞受章者名簿は４５頁の「資料―１」を参照

【３】運営幹事会 (2019 年度)

運営幹事会の構成 (H31.4.1)

幹事長　兼次豊明(京三製作所）、上田卓正(三工社）、平井俊雄(大同信号）、岡原幹夫(てつでん）、中島　勇(吉原鉄道工業）、平塚益廉(信号器材)、藤原　健(日本信号）、村田崇臣(東邦電機工業）以上８社８名及び協会事務局２名の計 10 名で構成。
なお、６月１日付けで(株)京三製作所の運営幹事は兼次豊明氏から國澤良治氏に
６月 24 日付けで(株)てつでんの運営幹事は岡原幹夫氏から大串裕郁氏に交代。
また、６月１日付けで運営幹事会委員長に日本信号(株) 取締役常務執行役員　藤原健氏が選任された。

１．第１回 (H31.4.25)　出席者９名

(1) 平成 30 年度３月度月次決算報告及び平成 30 年度通期決算概略報告
３月度月次決算の支出合計は予算比 97%となりほぼ予算通り推移した。但し、項目別では旅費交通費、印刷製本費の大幅減、会議費の増が顕著である。

(2) 第 60 回定時社員総会・2019 年度第１回、第２回理事会開催の件
社員総会及び第１回、第２回理事会開催通知と総会行事式次第について説明し、各行事進行に当っては例年通り運営幹事のお手伝いを要請した。
また、今総会でもって理事・監事の任期が満了するため、理事・監事の候補者選任について審議すること。総会後の第２回理事会では総会で選任された理事の中から代表理事２名（会長・副会長）及び専務理事を選定する旨を報告した。

(3) 会報 45 号編集委員会
この７月に発刊の会報 45 号の構成、内容について事務局案を説明。

巻頭言は当協会の副会長である(株)京三製作所の戸子台社長にお願いすることを報告する。また、新年度の各社人事異動情報は「会員会社役員人事」欄に掲載するので、情報提供をお願いする。

(4) 平成 31 年春の叙勲内示

Ⅱ類候補者として日本信号(株)元社員　伊澤勇司氏を推薦して審査が行われてきたが、3 月 25 日に国交省鉄道局技術企画課を介して内閣府賞勲局より叙勲受章の内示があった。瑞宝単光章の受章となり、5 月 24 日に都内ホテルにて伝達式、14 時 50 分より「皇居豊明殿」にて拝謁が行われる。新天皇による初の拝謁となる。5 月中旬の閣議において決定の上、裁可を得て 5 月 21 日に発令される。

(5) 運営幹事会委員長の選定

6 月 1 日付けにて(株)京三製作所の兼次氏が運営幹事会を退任することにより、後任の委員長の選定をお願いする。協会規則第 8 章「運営幹事会」第 14 条 4 項「運営幹事会の委員長は、運営幹事会において互選する。」となっており、

その旨を運営幹事に諮ったところ、満場一致で日本信号(株)の藤原氏が委員長に選任された。

(6) その他行事予定等

2．第 2 回 (R1.5.30)　出席者 10 名

(1) 2019 年度 4 月度月次決算報告

新年度に入り 4 月の会費収入の説明がなされた。

(2) 第 60 回定時社員総会、2019 年度第 1 回・第 2 回理事会概要報告

理事会及び定時社員総会が無事に終了したことを議事録に従って報告した。

総会後の懇親会には国交省、交通安全環境研究所、鉄道総合技術研究所の来賓をはじめ、会員企業より総勢 170 名の参加で盛会であった旨の報告が事務局よりされた。

(3) 令和元年春の叙勲受章

令和元年 5 月 24 日(金)10 時にグランドプリンスホテル新高輪「飛天」にて伝達式、14 時 50 分より皇居にて新天皇による初の拝謁が行われた。日本信号(株)元社員の伊澤勇司氏が奥様同伴にて参列された。

(4) 会報 45 号編集委員会

「会員会社紹介」「関連会社紹介」「技術解説」「信号以外の分野紹介」「新製品紹介」「国内外展示会」等のそれぞれの原稿提供会社を決めて 6 月 2 0 日までに協会送付で決定した。

(5) 運営幹事会の日程について

今後の運営幹事会の開催日の確認をする。

３．第３回 (R1.6.27)　出席者９名

(1) 運営幹事交代の件

(株)京三製作所、(株)てつでんの運営幹事が６月１日、24 日付にてそれぞれ交代し、本日の第３回運営幹事会が初出席となることを報告。新運営幹事である國澤氏、大串氏両名から挨拶があった。

(2) 2019 年度５月度月次決算報告

５月度月次決算は通常総会開催の支出が大きく、総会開催費・懇親会費用で 102 万円、信号貢献賞・功労賞賞品代で 17 万円の支出があったことの説明。また、総会懇親会の会費で 85 名分 255,000 円を雑収入に計上。

(3) 令和２年度文部科学大臣表彰の推薦について

令和２年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者の推薦についての依頼が国土交通省鉄道局を経由してきている旨の説明と推薦依頼書の配布。推薦の締切りは７月５日迄。

(4) 会報 45 号編集委員会

会報第 40 号～第 44 号に引き続き、会報 45 号も 36 頁のボリュームとなり原稿提供会社への感謝の意を表した。

６月 25 日に印刷会社に原稿を提出済。７月上旬に配布予定。

(5)転てつ装置技術委員会

「転てつ装置技術委員会」の第６回、第７回委員会の議事録を配布して進捗状況を報告。

(6)ホームページについて

協会ホームページの更新状況を報告。

① ヘディング画像を春バージョンから夏バージョンに更新
② トピックスの項目に於いて第 60 回定時社員総会に更新
③ 協会役員名簿を変更(理事、監事等)
④ 事業報告・会計報告の平成 30 年度分を掲載
⑤ 会員ページの「行事予定」に今後１年間の協会行事を掲載
⑥ 会員ページの「国交省配席図」を４．１付に更新
⑦ 会員ページに総会終了後の 2019 年度信号貢献賞・信号功労賞受章者の名簿と集合写真の貼り付けを掲載

(7)東京駅前八重洲一丁目東Ｂ地区第一種市街地再開発事業

八重洲一丁目東Ｂ地区再開発に伴い、当協会の事務所の移転を求められている問題で、５月の総会・理事会において今後のいろいろの決裁を運営幹事会に一任されたことから、2019 年４月に再開発組合から提出された「通常損失補償の概算額の

個票」について事務局より説明して、その賛否を問うため「表決票」の提出をお願いした。

(8)その他行事予定

７月度は総会後の挨拶回り等で各社幹事の日程調整が難しいため、運営幹事会は休止し、８月に開催することを決定。

４．第４回 (R1.8.22) 出席者 10 名

(1) 平成２９年度６月度及び７月度月次決算報告

印刷製本費において会報 45 号 500 部分の支出 50 万円の報告

(2) 令和２年春の叙勲受章候補者の推薦について

令和２年春の叙勲候補者の推薦は、令和元年７月５日付けで「信工協第 31－07 号」で会員宛発信したが、期限の７月 25 日までに候補者申請があったのは日本信号と大同信号(何れもⅡ類)の２社２名であった。

推薦書類は８月 25 日に国交省へ提出した。

(3) 陸運機器調査の状況（国土交通省）

毎年恒例の企業業態調査の依頼について６月 25 日に「信工協第 31－05 号」で会員 22 社宛調査依頼書を発信し、期日の７月 19 日時点で 20 社から回答が得られ、国交省に提出した。

(4) 財務省　租税適用実態調査の依頼

毎年恒例の調査依頼ですが、国交省を介して財務省主税局より租税適用実態調査の依頼がありました。これは試験研究費に関する租税特別措置の利用状況についての調査です。

当協会からは京三製作所、大同信号、日本信号、三工社、東邦電機工業の５社分を期日の８月 20 日に提出した。

(5) ３協会共催の令和元年電気関係受章者祝賀会開催について

令和元年の電気関係受章者祝賀会は例年通り日本鉄道電気技術協会、鉄道電業安全協会、信号工業協会の共催で令和元年 12 月 12 日(木)17 時～、東京駅のステーションコンファレンス東京サピアタワー６Ｆで開催されます。

本年度の幹事協会は鉄道電業安全協会で、９月 10 日に第１回準備打ち合わせが開催されます。当面の業務は受章者・招待者・案内者の名簿整理となります。

案内者の名簿を近々にお送りしますので確認をよろしくお願いします。

なお、当協会関係の受章者は春秋合わせて下記２名となり、祝賀会に招待されます。

令和元年春叙勲　元日本信号(株) 社員　伊澤　勇司　氏

令和元年秋叙勲　元(株)京三製作所社員　斉藤　健一　氏（内示）

また、昨年同様、祝賀会当日の運営スタッフとして運営幹事の中から動員をお願いすることもございますのでその際はご協力のほどよろしくお願いいたします。

(6) 会報第 45 号発行の件

会報 45 号 500 部は 7 月 10 日に DM 業者の手で各配布先に発送された。

次号46号は来年1月の発行を予定しております。予定記事につきましては「会報掲載実績一覧」から原稿の提供状況を調べ、下記の通り予定を立てましたのでよろしくお願いします。

・巻頭言・・・日本信号(株)　藤原常務

・新役員紹介・・・てつでん・山内社長、三工社・宗方社長

・QC 情報・・・吉原鉄道工業(株)

・その他・・・第 6 回鉄道技術展　出展記事（出展会社 11 社？）

(7)「型管理」問題について

経産省・中企庁を主に中小企業・小規模事業者の活力向上の観点から、下請け取引の条件改善、最低賃金引上げ、生産性向上、人材確保、長時間労働是正等の解決に取り組んでおります。その中で「型管理」問題が無いか、国交省を介して当協会にも調査依頼が来ました。

「型管理」問題とは、部品等の製造に必要な「型」の管理などを下請け企業に押しつけ、その管理費用などで下請け企業が不当な負担を強いられている問題です。

8 月 20 日に国交省に対して「当協会の会員企業において型管理問題が発生している事実はありません」と回答しております。

(8) その他行事予定

5．第 5 回 (R1.9.26)　出席者 9 名

(1) ２０１９年度 8 月度月次決算報告

8 月度月次決算では支出累計が 42%となっており、順調に推移しております。

8 月 1 ヵ月の支出では特段のものはありませんでした。

(2) 国交省_令和元年秋の叙勲の内示について

令和元年秋の叙勲申請は本年 2 月に元(株)京三製作所社員　斉藤健一氏の推薦を行い、長期間の審査を経て 9 月 13 日に国交省鉄道局技術企画課より内示通知を受けた。伝達式（都内ホテル）及び皇居・豊明殿での拝謁は 12 月 11 日（水）に実施される予定。正式には 10 月下旬の閣議決定を経て 11 月 3 日に発令・報道解禁の予定である。

今年度の当協会叙勲受章者は春 1 名、秋 1 名の 2 名となった。

(3) 国交省_令和 2 年春の叙勲候補者の推薦と審査状況について

令和２年春の叙勲候補者の推薦は令和元年７月５日付けで「信工協第 31-07 号　叙勲候補者の推薦について」として会員企業各社に推薦依頼をした結果、Ⅱ類(瑞宝単光章)候補者として日本信号(株)元社員　林久雄氏　大同信号(株)元社員　福田實氏の推薦応募があり、国交省と事前協議の上、推薦書類を期限の８月 26 日に提出し、現在審査中であるが、９月　18　日に福田氏の功績調書と履歴書との不一致の指摘があり、履歴書の追記を行った。

(4) ３協会共催の令和元年電気関係受章者祝賀会の開催について

令和元年の電気関係受章者祝賀会は例年通り日本鉄道電気技術協会、鉄道電業安全協会、信号工業協会の共催で令和元年 12 月 12 日(木)17 時からステーションコンファレンス東京サピアタワー６Ｆで開催されます。本年度の幹事協会は(一社)鉄道電業安全協会で９月１０日に３協会が集まって第１回目の打合せを行いました。当面の作業は受章者・招待者・案内者の名簿整理や各協会の役割分担決定などである。

(5) 転てつ装置技術委員会

「転てつ装置技術委員会」の第９回委員会の議事録を配布して進捗状況を報告。

(6) 地方鉄道向け無線式列車制御システム仕様標準化検討会

国土交通省では、鉄道生産性革命の目標の実現に向け、2019 年度より「鉄道技術開発・普及促進制度」を創設しており令和元年７月 23 日から８月 13 日まで公募を行い、外部有識者委員会における評価を踏まえ、９月６日に各技術開発テーマについて実施機関を決定した。

技術開発テーマ	地方鉄道向けの無線等を活用した運転保安システムの開発
実施機関	日本信号株式会社
概　　要	・鉄道の地上設備の削減が可能となり維持管理の効率化・省力化にも資する無線等による列車の運転保安システムを開発する。 ・これにより、既存の技術も活用しつつ、各地方鉄道の施設の状況に応じた運転保安システム及び標準的な仕様に関するガイドラインを策定し、技術の普及促進を行い図る。

実施機関の決定を受け、国土交通省鉄道局では日本大学の中村名誉教授を座長に水間東大特任教授、高橋日大教授をはじめ各研究機関、鉄道事業者、関連団体を委員として、「地方鉄道向け無線式列車制御システム仕様標準化検討会」を構成して９月 24 日に第１回会議を開催予定。2022 年度末に実用化に向けた最終確認を行うと共に仕様標準化ガイドラインの最終取り纏めを行う。

(7)東京駅前八重洲一丁目東 B 地区第一種市街地再開発事業

6 月の第 3 回運営幹事会で議題とした「通常損失補償の概算額の個票」において、運営幹事全員の賛成が得られましたので、「借家権消滅希望申出書」「損失補償契約書」等の契約を 10 月に結ぶことの報告がなされた。

(8)協会ホームページ更新の件

9 月から秋バージョンということでヘディング画像の更新を予定していましたが、吉原鉄道工業(株）から秋らしい鉄道写真を提供して頂きました。

(9)行事予定など

6．第６回(R1.10.24)　出席者９名

(1) ２０１９年度９月度月次決算報告

(2) ２０１９年度上期決算報告

(3) ２０１９年度第 3 回理事会開催の件

議案書を配布して議案の説明と質疑応答を行う。

(4) 国土交通省講演会の件

理事会終了後に開催している国交省鉄道局の講演会を今回は行わない。

理由は八重洲再開発事業による当協会事務所移転について、3 月以降の進捗状況を説明する為、講演会の時間が取れない。

(5) 電気関係３協会共催の令和元年受章者祝賀会開催の概要

令和元年 12 月 12 日(木)17 時から東京駅のステーションコンファレンス東京サピアタワーで開催。業務分担及び進行次第により説明をして協力を得る。

(6) 公正取引委員会・中小企業庁、厚生労働省通達

「下請取引適正化推進月間の実施について」「働き方改革」の通達を配布して、論旨を説明。

(7) 会報４６号編集委員会

令和 2 年 1 月発行の会報第 46 号の第 1 回編集委員会が開催され、次のことが確認された。

・巻頭言は日本信号(株)の藤原常務

・前号紙面の関係で掲載出来なかった、てつでんの新製品紹介を優先して掲載。

・「新役員就任挨拶」として三工社の宗方社長、てつでんの山内社長に原稿を依頼する。

・今号では、国内イベントとして「第６回鉄道技術展」を特集。

正会員 22 社中 11 社が出展しており、Ａ４、６頁に原稿を纏める。

・１月６日の当協会新年賀詞交歓会の写真等を「協会の動き」で紹介する為、発行は１月中旬以降となる。

(8) 東京駅前八重洲一丁目東Ｂ地区第一種市街地再開発事業
借家権消滅希望申出書、同意書(立会い省略、権利変換計画)、損失補償契約書等の契約を再開発組合と 11 月 8 日に締結することの了解を取る。

(9) 第 44 回 SKG 会懇親ゴルフの件
令和元年 11 月 8 日(金)に開催予定の第 44 回 SKG 会懇親ゴルフは台風 19 号の被害(鉄道事業者)を鑑みて中止とすることを決議。

(10)行事予定

7．第７回(R1.11.21)　出席者 10 名

(1) ２０１９年度 10 月度月次決算報告

(2) ２０１９年度第３回理事会開催報告
２０１９年度上期の事業報告及び決算報告等が承認されたことを報告
理事会議事録は、11 月 12 日に令和 2 年 1 月 6 日開催の新年賀詞交歓会の案内書を同封して会員各位に送付済。

(3) 令和２年新年賀詞交歓会開催概要の説明
賀詞交歓会の開催内容について説明。運営幹事の協力と日本信号から受付、会計スタッフ３～４名程の要請をおこない承諾された。

(4) 令和２年秋の叙勲候補者推薦依頼の件
令和 2 年秋の叙勲候補者推薦依頼の事務連絡は国交省より毎年１月上旬に配信されますが、提出期日が 2 月中旬までと短納期となりますので申請を予定される会員会社は社内調整など事前準備をお願いします。
Ⅱ類候補者推薦に関しては、信号功労賞を受章していること、現業従事 30 年以上、現業長として 5 名以上の部下がいることが条件となる。（組織図の提出）

(5) 会報第４６号編集委員会
第 2 回編集委員会を開催して、原稿の募集状況を確認。

(6) 令和２年度信号功労賞及び信号貢献賞受賞候補者推薦依頼
信号功労賞受章候補者の推薦依頼を会員各社宛に 12 月に書類送付します。締切は 1 月末を予定し、候補者の資格審査を来年 2 月の運営幹事会でおこない、その結果を 3 月の理事会に議案上程する予定です。
信号貢献賞については協会事務局にて推薦規程に則り候補者を選択しております。12 月開催の運営幹事会に審議事項として上程します。

(7) 令和２年電気関係受章者祝賀会
12 月 12 日開催の電気関係受章者祝賀会の出席者の確認を行い、運営幹事の当日のお手伝いをお願いする。

(10)下請取引適正化推進月間の実施について

(11)公正取引委員会「働き方改革」

(12)厚生労働省「しわ寄せ防止」

(13)転てつ装置技術委員会

第 10 回転てつ装置技術委員会議事録の確認

(14)行事予定

8．第８回(R1.12.19)　出席者 10 名

(1) ２０１９年度 11 月度月次決算報告

(2) 令和２年新年賀詞交歓会開催概要の報告

来賓を含めた案内先・出席予定リストを配布し当日の協力を要請した

受付、会計係は日本信号より応援頂く事となり、当日 3 時 30 分集合とした。

(3) 令和２年秋の叙勲候補者推薦依頼の件

各社の準備の都合もあり、国交省からの正式文書受領に先立ち(正式事務連絡は 12 月 18 日現在未着)、協会として推薦依頼の公文書を 12 月 5 日付け「信工協第 31-10 号」で会員宛に発行したことを説明

(4) 令和２年度信号功労賞及び信号貢献賞受章候補者推薦依頼書発行の件

信号功労賞の候補者推薦依頼の公文書を「信工協第 31-11 号」で発行したことを説明。また、信号貢献賞については、協会表彰規程の理事・監事を 5 年以上務めた方が居ませんので、候補者推薦なしと致します。

(5) 会報第４６号編集委員会

会報第 46 号は来年 1 月中旬発行、40 頁の予定で進めており、表紙の写真は吉原鉄道工業(株)の眞砂和隆氏提供の写真を幹事会で選択した。

なお、ホームページヘッダー画像用の冬写真は東邦電機工業、桑原浩幸氏提供の写真に 12 月初旬に交換しました。

(6) 第８回鉄道認証情報交換会

交通安全環境研究所が事務局となり第８回鉄道認証情報交換会が 12 月 13 日に鉄道車両工業協会で開催され、その内容の説明がなされた。

(7) 令和元年電気関係受章者祝賀会

３協会共催の電気関係受章者祝賀会が無事に終了した事の報告がなされた。

来年の幹事協会は日本鉄道電気技術協会で、令和 2 年 12 月 10 日(木)の開催となります。

(8) 転てつ装置技術委員会

第 11 回転てつ装置技術委員会議事録の配布

(9)行事予定

９．第９回(R2.2.20)　出席者 10 名

(1) ２０１９年度 12 月度及び 1 月度月次決算報告

(2) 令和２年新年賀詞交歓会開催結果報告

1 月 6 日(月)16 時 30 分から KKR ホテル東京で開催された令和 2 年賀詞交換会は約 190 名の参加を頂き盛況のうち無事終了したことを報告

(3) 会報第 46 号発刊の報告

会報 46 号を 1 月２０日に発刊して、483 部を配送したことを報告。

会報 46 号は過去最高の 40 頁のボリュームとなった。

(4) 令和２年秋の叙勲候補者推薦状況の件

令和２年秋の叙勲候補者１名の推薦書類を２月 17 日に国交省鉄道局技術企画課に提出しました。本件は３月 11 日開催の第４回理事会に議案上程することが事務局より説明された。

(5) 令和２年度信号功労賞受章候補者の資格審査

信号功労賞の受賞候補者９社９名の推薦調書一覧を配布し、表彰規程に則り資格審査を実施。９名全員の表彰規程クリアーを確認した。

３月 11 日開催の第４回理事会に議案上程することを決定する。

(6) ２０１９年度第４回理事会上程議案の説明

(7) セーフティーネット保証５号に係る業況調査について

四半期ごとの調査であるセーフティーネット保証５号の業種指定に関し、中小企業庁より４月１日以降の業種指定を行うか否かの業況調査依頼があった。

当協会会員企業が該当する「3015　交通信号保安装置製造業」の範疇では会員企業からの業種指定の希望はありませんと回答した。

(8) 中小企業等に対する時間外労働の上限規制の適用に向けた周知等について

(9) 令和２年「桜を見る会」

平成２年「桜を見る会」は政府都合により中止。

(10) 第３回鉄道品質マネジメントシステム(RQMS)セミナー開催

昨年度に引き続き今年度も国交省よりの委託を受けて一般財団法人研友社の主催で、RQMS セミナーが開催されることになった。

(11) 転てつ装置技術委員会

成果物の本年度中の印刷・製本について説明

(12) ホームページの更新

昨年 12 月から２月までのヘディング画像、トピックス、会報等ホームページの更新内容の説明

(13) 信号工業協会行事予定表

１０．第１０回(R2.3.26) 出席者１０名

(1) ２０１９年度２月度月次決算報告

(2) ２０１９年度３月度月次決算及び年度決算（予測）について

(3) ２０１９年度第４回理事会議事録概要説明

第４回理事会が３月 11 日に理事・監事全員出席にて開催された。

審議事項第１号議案から６号議案すべてが承認されたことの報告がなされた。

また、報告事項で当協会事務所の移転に伴い、数か所の移転先候補物件の説明がなされ、意見を求めたが事務局一任との了解を得た。

また、この席で事務局より運営幹事の参考意見も求めた。

(4) 転てつ装置技術委員会

第 10 回～12 回の委員会議事録が配布され、３月中に委員会報告書を 500 部印刷製本することが報告された。ＪＲ各社、民鉄の電気、保線を中心に配布することが確認された。また、会員企業には USB メモリーでの配布とすることとなった。

(5) 令和２年春の叙勲内示

Ⅱ類候補者として日本信号元社員 林久雄氏、大同信号元社員 福田實氏を推薦して審査がおこなわれてきたが、３月 17 日に内閣府賞勲局より国交省を介して叙勲受章の内示があった。瑞宝単光章の受章となり、令和２年５月 14 日(木)に都内ホテル(詳細未定)にて伝達式、14 時 50 分より皇居「豊明殿」にて拝謁が行われる。林久雄氏、福田實氏共に奥様同伴にて出席される。

【４】ＱＣ連絡会

機器関連の事故例の検討および品質情報の交換

QC 連絡会委員構成（H31.4.1 現在）

委員長 岸 幸男（京三）、大同信号４名、京三製作所４名、三工社３名、東邦電機工業２名、吉原鉄道工業３名、信号器材１名、大館製作所２名、てつでん２名、日本信号３名及び協会事務局２名の計２７名。

１．第 261 回 (H31.4.24) 出席者 20 名

(1) H31 年４月現在の輸送障害・労働災害概要・JR 電気関係請負工事に伴う輸送障害概況説明（鉄道電業安全協会資料）

(2) 今年度の「品質情報」は信号業界全体として品質を向上していく内容について議論を進めていくこととする。

・品質に対して信号メーカーが苦慮していること

・経年をはるかに超えた修理、調査品、返戻品の対応について

・各社の変化点に関する管理の実施方法に関して

(3) UNIX 系の OS を用いたコンピューターが、UTC(協定世界時)の 2038 年 1 月 19 日午前 3 時 14 分 7 秒を過ぎると、正しく時刻を認識できなくなる「2038 年問題」についての各社の対処法について。

(4) 各社品質情報、QC 情報、その他について報告。

2．第 262 回 (R1.5.29) 出席者 19 名

(1) R 1 年 5 月現在の輸送障害・労働災害概要・JR 電気関係請負工事に伴う輸送障害概況説明（鉄道電業安全協会資料）

(2) QC 連絡会各社に影響が考えられる部品の製造中止または、ロット不良等が発生した場合は、早めの処置、対応が出来るように可能な範囲で当連絡会に報告し、周知を図ること。

(3) 計量単位令(平成 4 年政令第 357 号)の一部改正について
今回の改正は、キログラム(質量)、アンペア(電流)、ケルビン(温度)、モル(物質量)の 4 つの計量単位の「各単位の計算のもととなる定義」を変更したもの。

(4) 各社品質情報、QC 情報、その他について報告。

3．第 263 回 (R1.6.2 6) 出席者 1 7 名

(1) R 1 年 6 月現在の輸送障害・労働災害概要・JR 電気関係請負工事に伴う輸送障害概況説明（鉄道電業安全協会資料）

(2) JR 東日本本社より、部品の入手不能や社内ストックがなく、製造不能若しくは製造が出来なくなりそうなユニット類を整理、提出するようにメーカーに依頼があった。

(3) LED 信号表示器の設置工事時に点灯条件が入っていないにも関わらず、LED が 1 点だけ点灯したという不具合が発生。回路上では LED がシリーズに複数接続されているため、1 点だけの点灯はあり得ず、当初は作業員のライトが反射して光ったように見えたのでは無いかと想定したが、その後の調査で冬季の設置工事で、結露が何らかの要因で大量に発生しLED基板上に付着し、水滴が電源端子とLEDリード間を導通させてしまい、LED が 1 点だけ点灯したのではないかと言う結論に至った。

(4) 各社品質情報、QC 情報、その他について報告。

4．第 264 回 (R1.7.24) 出席者 18 名

(1) R 1 年 7 月現在の輸送障害・労働災害概要・JR 電気関係請負工事に伴う輸送障害概況説明（鉄道電業安全協会資料）

(2) 国土交通省 陸運機器等に関する調査表の提出
「会社概要、事業所の概要(工場別)、環境対策等関係法令に対する対応状況、各社からの意見・アピール事項について」を信号工業協会を介して提出した。

(3) JR 東日本からの指摘事項であった、RFID タグの製品への貼り付け出荷に関しては

最近はその要求がなされていない。

(4) 各社品質情報、QC 情報、その他について報告

5．第 265 回 (R1.8.28) 出席者 20 名

(1) R 1 年 8 月現在の輸送障害・労働災害概要・JR 電気関係請負工事に伴う輸送障害概況説明（鉄道電業安全協会資料）

(2) スリオジャパンよりヨーロッパでのめっき仕様に統一することになり、切削式ソケットコンタクトのめっき仕様の変更を行う旨の連絡が有り。

(3) 日東工器(株)のワイヤラッパ生産・販売終了について
電動式ワイヤラッパ I-C-S は、2019 年 9 月販売終了、手動巻き戻し工具・アクセサリー(ビット全種類、スリーブ全種類)は、2024 年 3 月販売終了予定。

(4) 各社品質情報、QC 情報、その他について報告

6．第 266 回 (R1.9.25) 出席者 18 名

(1) 鉄道事業者(JR 西、JR 北他)から信号機器の PCB の有無の問い合わせが来ており、その対応について協議。

(2) JR に於いて、レール絶縁装置のプラスチック部品に亀裂が発生(短期間にて)
材料メーカにて破面観察と付着している物質(測定できる範囲)など分析中。

(3) 資材部主催により、サプライヤーの品質向上および変化点管理の周知を目的として、サプライヤーを集めて品質向上会議を開催。

(4) 各社品質情報、QC 情報、その他について報告。

7．第 267 回 (R1.10.24) 出席者 16 名

(1) 令和元年 8 月 30 日付け警視庁交通部交通規制課発表の緊急事故速報の報告及び説明。

(2) 前回に引き続き信号機器のＰＣＢ含有製品の有無、鉄道事業者への現時点での回答、今後の対応について協議。

(3) 台風 19 号による被害状況の報告。

(4) 各社品質情報、QC 情報、その他について報告。

8．第 268 回 (R1.11.27) 出席者 16 名

(1) R 1 年 11 月現在の輸送障害・労働災害概要・JR 電気関係請負工事に伴う輸送障害概況説明（鉄道電業安全協会資料）

(2) ＱＣ検定、ECO 検定などの品質教育、環境教育などのインセンティブについて各社の状況を確認。

(3) ＪＲ東日本より資材のグリーン調達ガイドラインに基づいた、環境認証状況、環境マネジメント体制、環境評価とリスク管理、教育、化学物質管理などの項目について調査依頼が来た。今後、環境負荷低減の取組みが求められる。

(4) 各社品質情報、QC 情報、その他について報告。

9. 第 269 回 (R1.12.18) 出席者 18 名

(1) Ｒ１年 12 月現在の輸送障害・労働災害概要・JR 電気関係請負工事に伴う輸送障害概況説明（鉄道電業安全協会資料）

(2) 関東の大手民鉄より特定有害物質「オルトートルイジン」（主に染料原料やシアノアクリレート系接着剤の硬化促進剤）の使用について問い合わせがあった。

(3) プラスチック部品について、ソルベントクラック（薬品等によりプラスチックの内部まで浸透したクラック現象）が発生。材料メーカーにて付着している元素など特定中。

(4)各社品質情報、QC 情報、その他について報告。

10. 第 270 回 (R2.1.29) 出席者 18 名

(1) Ｒ２年１月現在の輸送障害・労働災害概要・JR 電気関係請負工事に伴う輸送障害概況説明（鉄道電業安全協会資料）

(2) 前回のＱＣ連絡会で議論されたプラスチック部品にクモの巣状のクラック発生問題は、破壊面観察と元素分析を実施した結果、破壊面は鏡面状かつ平滑面が観察されＺn 元素などが検出された。よって、外的応力によるものでなくケミカルアタックによるものと推定。

(3) (株)ベスタクトソリュウションズ製のベスタクトリレーがガラス管割れにより、接点抵抗が増大。今後の対応として、入場検査時に抵抗値を全数確認する。

(4) 各社品質情報、QC 情報、その他について報告

11. 第 271 回 (R2.2.26) 出席者 16 名

(1) Ｒ２年２月現在の輸送障害・労働災害概要・JR 電気関係請負工事に伴う輸送障害概況説明（鉄道電業安全協会資料）

(2) 前回のＱＣ連絡会の課題となったＦ形ロック付きファストン端子は、ＪＲ東日本の施工標準ではニチフ製を標準とすると明記されている。

(3) 鉄道事業者各社より新型コロナウイルス感染症発生に伴う製品出荷等、関連影響懸念についての問い合わせが続出している。

(4)各社品質情報、QC 情報、その他について報告。

12. 第 272 回 (R2.3.25)

新型コロナウイルス感染症発生に伴い連絡会中止

【５】公官庁関係

[５-１] 国土交通省関係

１．鉄道製品認証業務運営委員会委員の委嘱について

「鉄道製品認証業務運営委員会」は日本大学の中村英夫名誉教授を委員長に、委員は JR 東日本、東京地下鉄の各鉄道事業者、（独法）鉄道建設・運輸施設整備支援機構及び（一社）日本鉄道車両工業会、（一社）日本鉄道電気技術協会、（一社）信号工業協会の３協会で構成。

国土交通省鉄道局技術企画課が参画して、事務局は（独法）自動車技術総合機構交通安全環境研究所鉄道認証室。

本運営委員会の委員に（一社）信号工業協会として、大橋成行が委嘱された。

期間は平成３１年４月１日から令和３年３月末日まで

２．第９回 鉄道製品認証業務運営委員会（R1.6.20）

（一社）日本鉄道車両工業会７階会議室で開催

上記１項の「鉄道製品認証業務運営委員会」のメンバー出席のもと開催された。

審議事項は認証業務の運営に関する①プロセス及び手順について ②公平性の確保について ③運営方法の見直し及び是正処置の実施状況について ④認証業務の適切な運営について 報告事項として「平成30年度の活動状況及び令和元年度の活動について」を事務局から説明と質疑応答がなされた。

質疑のなかで、これまでしばしば認証要員の数や質、分野別のバランスが懸念されてきたが、外部審査員は高年齢の方が多いため、体調を理由に辞退される方や、判定は行えるが審査は無理と言う方もおられるため、引き続き関係業界の皆様に審査要員候補の推薦をお願いしたいとの発言があった。

３．会社概要等調査表（陸運機器調査）の提出

国交省(及び経済産業省)では業況の把握及び政策立案のため、鉄道車両、鉄道車両部品、信号保安装置等（以下「陸運機器等」と表現します）の生産額、販売額及び輸出額などを毎年 7~8 月に調査しています。

今年も６月 25 日に鉄道局車両工業企画室から「会社概要等調査表（H30 年度分陸運機器調査票）」の提出依頼があり、協会会員２２社に調査要請をした結果、協会指定納期の７月 19 日時点で 20 社(5 月決算の木内製作所、6 月決算の峰製作所は別途提出)から回答が得られ、国交省へ 16 社分を期限の 26 日に提出した。

本調査表は５項の「セーフティーネット第５号に基づく業況確認調査」にも関係するデータとなりますので、会員企業のご理解とご協力をお願いする。

４．試験研究費に関わる租税特別措置利用状況調査書の提出

本調査は財務省指示により国土交通省鉄道局車両工業企画室経由で各工業界宛に発信される調査依頼であり、毎年８月に実施される。

内容は「試験研究費に関わる租税特別措置」の利用状況調査で H30 年度実績及び2019年度予定分の調査である。今年度は京三製作所、日本信号、大同信号、三工社、東邦電機工業の５社分のデータを期日の８月 20 日に提出した。

5．セーフティネット第５号に基づく業況確認について

経産省・中小企業庁より四半期ごとに国交省に対し「セーフティネット保証制度第５号に係る業況の確認」について依頼・要請があり、これを受けて国交省より傘下の各業界団体協会等にその旨の通知メールが発信されます。当協会としましては、毎年７～8 月頃に陸運機器等に関する調査を行っており、「当協会会員企業が該当する【3015　交通信号保安装置製造業】の範疇では会員企業から業種指定の希望はありません」との回答をしております。

セーフティネット保証５号は、全国的に業況の悪化している業種を国が指定し、当該業種に属する事業を行う中小企業者が経営の安定に支障が生じていることにつき、市区町村長の認定を受けることで保証を受けられる制度で、中小企業者を支援するための制度である（保証限度額は普通保証２億円、無担保保証８千万円）。

6．文部科学大臣表彰科学技術賞候補者の推薦

文部科学省主管の「令和２年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について」が国交省鉄道局技術企画課長名で発信があり、運営幹事会に計ったが今回は推薦を見送ることにした。

７．第９回鉄道認証情報交換会（R1.12.13）

第９回鉄道認証情報交換会が 12 月 13 日(金)に日本鉄道車両工業会の会議室にて、国土交通省鉄道局技術企画課髙瀬車両工業企画室長をはじめとして 24 名の参加のもと開催された。事務局からは交通安全環境研究所鉄道認証室の山崎室長以下 11 名が出席された。議題は①鉄道認証室の活動状況　②外部審査要員の活動状況と推薦のお願いについて　③サーベイランスの実施方法の変更について　④認証に関連する標準化活動に関する検討ＷＧの動き　⑤その他（情報提供、要望等）について審議された。

質疑応答において、外部審査要員の拡充と公平性について議論がなされた。

8．鉄道分野での衛星測位を用いた位置検知技術等及びその応用に関する検討会

(1) 設立趣旨

準天頂衛星を含む衛星測位については、平成 30 年 11 月の準天頂衛星（みちびき）のセンチメートル級サービス開始を踏まえ、今後交通分野における技術開発

や導入が進んでいくことが想定される。また、鉄道分野においても、衛星測位の列車制御やメンテナンス等における活用が考えられる。そのため本検討会においては、準天頂衛星を含む衛星測位活用に向けた課題の洗い出し、同技術の鉄道分野における活用可能性等に関して議論を行う。

（2）委員

日本大学中村教授、東京大学水間教授、東京大学古関教授、
JR 東日本、JR 西日本、JR 四国、東急電鉄、山形鉄道、
関係団体（衛星測位利用推進センター、信号工業協会、日本鉄道施設協会、日本鉄道車両機械技術協会、日本鉄道運転協会、日本鉄道電気技術協会、日本民営鉄道協会）研究所（鉄道総合技術研究所、電子航空研究所）

(3) 事務局

交通安全環境研究所

(4) 検討会進捗状況

・第 1 回検討会（2 月 19 日開催）
・①列車制御・保安分野検討 WG　第 1 回～第 4 回(7 月 5 日開催)
・②保安・防災・サービス分野検討 WG　第 1 回～第 5 回(7 月 9 日開催)
・第 2 回検討会（9 月 19 日開催）
・①列車制御・保安分野検討 WG　第 5 回～第 6 回(12 月 6 日開催)
・②保安・防災・サービス分野検討 WG　第 6 回～第 7 回(12 月 12 日開催)
・第 3 回検討会（12 月 25 日開催）

当初予定では第 3 回検討会(取り纏め)で終了でしたが、事務局、座長からの以下の事由により、取り纏め資料の追記、改訂検討が必要なため、活動を継続して令和 2 年 2 月下旬目途に第 4 回検討会を行う事となった。

1) 列車制御・保安分野での活用については、安全性・信頼性・コスト等開発課題が多いのが実情であるが、「ここまでは活用できる」「これはまだ課題である」「こう言う活用が見込まれる」等、前向きな記載を盛り込む
2) 鉄道事業者フィールドでの測位実験の更なる実施と分析、および関係者間での意見交換によるブラッシュアップを行う

・第 4 回検討会（令和 2 年 2 月 1 9 日開催）

2 つの WG からまとめ案が提出され、「鉄道における準天頂衛星等システム活用検討会」として今後の課題を含め取りまとめを行う事となった。

尚、信号工業協会より委員登録しております(株)京三製作所の浅野晃、高田哲也開発センター長、大同信号(株)の三宮勇開発部長、日本信号(株)の坂井正善センター長には 1 年余り大変お世話になりました。

9. 「製造業者のノウハウ・知的財産権を対象とした優越的地位の濫用行為等に関する実態調査報告書」の周知等について

令和元年 6 月 14 日、公正取引委員会は、独占禁止法の優越的地位の濫用行為又は下請法違反行為の未然防止の取組の一環として上記の実態調査報告書を公表しました。調査結果として、①ノウハウの開示を強要される、②名ばかりの共同研究を強いられる、③特許出願に干渉される、④知的財産権の無償譲渡を強要される等の事例が報告された。

国交省鉄道局を介して当協会にも、傘下の会員企業宛への周知と注意喚起の要請がきております。

10. 「型管理」問題について

経済産業省・中小企業庁では、中小企業・小規模事業者の活力向上の観点から、下請け取引の条件改善、最低賃金引上げ、生産性向上、人材確保、長時間労働是正等の解決に取り組んでおります。

その中で「型取引の適正化推進協議会」が 8 月 6 日に発足しました。「型管理」問題とは、部品等の製造に必要な「型」の管理などを下請け企業に押しつけ、その管理費用などで下請け企業が不当な負担を強いられている問題のことです。

当協会にも国交省を介して会員企業への調査依頼がきましたが、8 月 20 日に「当協会の会員企業において型管理問題が発生している事実はありません」と回答しました。

11.地方鉄道向け無線式列車制御システム仕様標準化検討会

国土交通省では、鉄道生産性革命の目標の実現に向け、2019 年度より「鉄道技術開発・普及促進制度」を創設しており令和元年 7 月 23 日から 8 月 13 日まで公募を行い、外部有識者委員会における評価を踏まえ、9 月 6 日に各技術開発テーマについて実施機関を決定した。

技術開発テーマ	地方鉄道向けの無線等を活用した運転保安システムの開発
実施機関	日本信号株式会社
概　要	・鉄道の地上設備の削減が可能となり維持管理の効率化・省力化にも資する無線等による列車の運転保安システムを開発する。 ・これにより、既存の技術も活用しつつ、各地方鉄道の施設の状況に応じた運転保安システム及び標準的な仕様に関するガイドラインを策定し、技術の普及促進を行い図る。

実施機関の決定を受け、国土交通省鉄道局では日本大学の中村名誉教授を座長に水間東大特任教授、高橋日大教授をはじめ各研究機関、鉄道事業者、関連団体を委員として、「地方鉄道向け無線式列車制御システム仕様標準化検討会」を構成して

令和２年２月４日に第１回会議を開催。2022年度末に実用化に向けた最終確認を行うと共に仕様標準化ガイドラインの最終取り纏めを行う。

尚、事務局は国土交通省鉄道局と日本信号株式会社である。

12．令和元年叙勲受章者

(1) 令和元年春の叙勲

令和元年春の叙勲は元日本信号(株)社員　伊澤勇司氏に３月25日に国交省鉄道局（内閣府より）から叙勲内示があった。勲章伝達式は５月24日(金)にグランドプリンスホテル新高輪「飛天」でおこなわれ、午後、皇居「豊明殿」にて天皇陛下への拝謁に奥様同伴にて出席された。

(2) 令和元年秋の叙勲

令和元年秋の叙勲は元(株)京三製作所社員　斉藤健一氏に９月13日(金)に内示通知を受けた。12月11日(水)に東京プリンスホテル「鳳凰の間」での伝達式、その後の皇居「豊明殿」での拝謁に出席された。

【令和元年叙勲受章者一覧】

令和元年春の叙勲（令和元年５月24日伝達式）		
瑞宝単光章	元日本信号(株)社員	伊澤　勇司　氏
平成24年５月　（一社）信号工業協会　信号功労賞受章 平成５年Ｉ０月　鉄道信号事業部　第二信号検査部保証課　主任		

令和元年秋の叙勲（令和元年12月11日伝達式）		
瑞宝単光章	元(株)京三製作所社員	斉藤　健一　氏
平成８年５月　（一社）信号工業協会　信号功労賞受章 平成９年７月　信号事業部　製造部製造技術課　課長		

13．令和２年叙勲候補者の推薦

(1) 令和２年春の叙勲候補者推薦

令和２年春の叙勲候補者の推薦は令和元年７月５日付けで「信工協第31-07号　叙勲候補者の推薦について」として会員企業各社に会長名で推薦依頼文書を発送。期日までに候補者の応募申請があったのは下記の２社２名であった。

Ⅱ類(瑞宝単光章)候補者として元日本信号(株)社員　林久雄氏、元大同信号(株)社員　福田實氏を事務局にて資格要件を確認し国交省と事前協議の上、推薦書類を期限の 8 月 26 日に提出し、現在審査対応中である。

候補者概要は下記資料の通りである。

Ⅱ類候補者

林（はやし）　久雄（ひさお）	昭和 27 年 12 月 15 日生　　元日本信号(株)社員	
最終職歴	久喜事業所上尾工場　品質保証Ｇ品質保証係　係長　(現業長)	
賞　　罰	平成 26 年５月	(一社)信号工業協会　信号功労賞受賞

福田（ふくだ）　實（みのる）	昭和 24 年５月５日生　　元大同信号(株)社員	
最終職歴	技術生産本部　東京工場　検査課　課長（現業長）	
賞　　罰	平成 27 年５月	(一社)信号工業協会　信号功労賞受賞

(2) 令和 2 年春の叙勲内示

Ⅱ類候補者として日本信号(株)元社員　林久雄氏、大同信号(株)元社員　福田實氏の２名を推薦し審査が行われてきたが、令和２年３月 17 日に国交省鉄道局技術企画課を介して内閣府賞勲局より叙勲受章の内示があった。

両名とも瑞宝単光章の受章となり、令和２年５月 14 日(木)都内ホテルにて伝達式、14 時 30 分より皇居「豊明殿」にて拝謁が実施される。

両名ともに奥様同伴にて伝達式・拝謁にご出席されます。

なお、令和２年春の叙勲の受章者は、４月下旬の閣議において決定の上、裁可を得て、４月 29 日に発令されます。

(3) 令和 2 年秋の叙勲候補者推薦

令和 2 年秋の叙勲候補者の推薦は、令和元年 12 月５日に「信工協第 31－10 号　叙勲候補者の推薦について」として会員企業各社に会長名で推薦依頼文書を発送し、期日の１月 10 日までに候補者として応募申請があった下記の者を運営幹事会での資格審査の結果、推薦することとした。

Ⅱ類(瑞宝単光章)候補者として(株)京三製作所元社員　髙塚治行氏

国交省と事前協議の上、推薦書類を期限の２月 17 日に提出し、現在審査対応中である。なお、候候補者推薦は３月 11 日開催の第４回理事会「第５号議案」にて承認された。

候補者概要は下記の通りである。

Ⅱ類候補者

髙塚（たかつか） 治行（はるゆき）	昭和 31 年 2 月 10 日生　元(株)京三製作所社員	
最終職歴	信号事業部　製造部連動装置課　第４組立配線Ｇ係長(現業長)	
賞　　罰	平成 14 年 3 月	(一社)信号工業協会　信号功労賞受賞

14. 平成 31 年「桜を見る会」

内閣総理大臣主催の「桜を見る会」がＨ３１年４月１３日(土)新宿御苑で開催された。当協会からＨ３０年春の叙勲で瑞宝単光章を受章された、小木輝明氏（元大同信号社員）が招待され出席された。

15. 令和２年「桜を見る会」

政府都合により中止

[５-２] 経済産業省関係

１．中小企業経営強化税制・固定資産税特例

中小・小規模事業者の「攻めの投資」を後押しするため、中小企業経営強化税制を創設。対象設備を拡充し、一定の器具備品・建物付属設備を追加。固定資産税の特例対象設備も、地域業種を限定した上で、同様に拡充することで、サービス業も含め、幅広く中小企業の生産性向上を強力に後押しする制度である。信号工業協会は中小企業等経営強化法の経営力向上設備等に係る証明書発行団体であるが、工業会証明書は「販売時期」と「生産性向上１％」の要件を満たしていることを証明する書類であり、税制の適用を受けられることを証明している書類ではない。

２．新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受ける下請等中小企業との取引に関する一層の配慮について

令和２年２月 14 日に新型コロナウイルス感染症により影響を受ける下請等中小企業への取引上のしわ寄せ防止のため、当協会会員企業へ周知徹底の要請文を受領。

〈要請内容〉

１．納期遅れへの対応・・・納期について柔軟な対応を行うとともに、取引を継続的に実施するよう努めること。

２．適正なコスト負担・・・下請代金の支払いに当たり追加コストの負担を行うこと。

３．迅速・柔軟な支払いの実施・・・速やかな支払い、前金払い等の柔軟な支払い。

４．発注の取消・変更への対応・・・仕掛品代金の支払いを行う等の配慮を求める。

【６】他省庁・他協会関係

１．令和元年電気関係受章者祝賀会開催

令和元年の電気関係受章者祝賀会は例年通り日本鉄道電気技術協会、鉄道電業安全協会、信号工業協会の共催で令和元年 12 月 12 日(木)17 時～東京駅のステーションコンファレンス東京サピアタワー６Ｆで開催されました。

令和元年の春・秋叙勲受章者は 11 名、国土交通大臣表彰受賞者は 2 名の計 13 名となり、うち 9 名の出席をいただき開催された。

信号工業協会からの叙勲受章者は、春 1 名、秋 1 名の 2 名が招待され、出席されました。鉄道電業安全協会の佐々木会長の主催者挨拶で祝賀会が始まり、国土交通省大臣官房技術審議官　江口秀二様からご祝辞、受章者を代表して瑞宝小授章を受章された大内順様が謝辞を述べられた。

日本鉄道電気技術協会の江川会長の乾杯で約 130 名の出席者が歓談され、信号工業協会の降籏会長の万歳三唱で盛会の内に終了した。

【７】海外技術協力等

１。日中鉄道友好推進協議会（Ｒ１．６．７）

日中鉄道友好推進協議会第 22 回通常総会及び第 38 回理事会は昨年同様書面審議での開催となり、令和元年 6 月 7 日に開催された。

平成 30 年度事業報告、同収支決算報告、2019 年度事業計画(案)、収支予算(案)、理事及び役員の選任などの議案について書面審議で回答をした。

尚、本協議会は令和元年 10 月 25 日を持って解散となった。

２。海外鉄道技術協力協会（JARTS）（R1.6.24）

第 55 回定時社員総会が令和元年 6 月 24 日に学士会館にて開催され、平成 30 年度事業報告、収支決算報告、2019 年度事業計画(案)、収支予算(案)、役員の選任などの議案が審議された。

【８】事業活動関係

[８-１] 会報の発行

(1)会報 45 号の発行

会報第 45 号を令和元年 7 月に発行し、会員企業、官公庁はじめ全国の鉄道事業者その他で計 371 宛先、配布部数は 485 部、ボリュームは 36 頁となった。

（主要記事構成）

巻頭言	(株)京三製作所　取締役常務執行役員　國澤良治	
	「地方鉄道を想う」	
新役員就任挨拶	信号器材(株)　代表取締役社長　前島敏雄	
	「趣味は身を助ける」	
	東邦電機工業(株)　代表取締役社長　村田章臣	
	「監事就任のご挨拶」	
	(株)西村電工　代表取締役社長　久米　聡	
	「新しい時代に」	
会員会社紹介	事業紹介	(株)峰製作所
関連会社紹介	事業紹介	栃木日信(株)
技術解説	NS 形電気転てつ機の耐水性向上	日本信号(株)
信号以外の分野	難燃性カバーを使用した信号リレーの開発	大同信号(株)
	センサメンテナンスネットワーク	日本信号(株)
	軽量可動式ホーム柵	（株）京三製作所
信号以外の分野紹介	アルミ合金製架線ビーム	(株)てつでん
新製品紹介	現場設備用小型直流電源装置	（株)京三製作所
	電子踏切制御装置　M3 形	大同信号(株)
	踏切警報灯(両面型)ecoK	東邦電機工業(株)
	踏切状態監視装置(ネットワーク対応形)	東邦電機工業(株)
	レール絶縁部矯絡防止用絶縁カバー	信号器材(株)
	可搬型教育訓練用制御盤	(株)てつでん
	LED 信号電球(セミシールド形)	(株)てつでん
海外イベント	ジャカルタ MRT 開業	日本信号(株)
国内イベント	第 12 回電気技術顕彰	
ＱＣ情報	２０３８年問題	(株)京三製作所
協会の動き	2019 年上期各種行事、会員会社・協会役員人事他	

次号、「会報第 46 号」の発行は令和 2 年 1 月を予定しています。

(2)会報 46 号の発行

会報第 46 号を令和２年１月に発行し、会員企業、官公庁はじめ全国の鉄道事業者その他で計 372 宛先、配布部数は 483 部、ボリュームは 40 頁となった。

（主要記事構成）

巻頭言	日本信号(株) 取締役常務執行役員 「令和初の新年を迎えて」	藤原 健
新役員就任挨拶	(株)三工社 代表取締役社長 「Go for it ！」	宗方江一郎
	(株)てつでん 代表取締役社長 「理事就任のご挨拶」	山内 崇
関連会社紹介	事業紹介	京三システム(株)
技術解説	ＦＳ－ＰＬＣの開発	日本信号(株)
	ＮＳ転てつ機ロック偏移監視カメラシステム	(株)京三製作所
信号以外の分野紹介	大型化学高所放水車制御装置	大同信号(株)
関連会社紹介	東京本社移転	信号器材(株)
新製品紹介	保守モニター付きシーケンスレコーダ	(株)京三製作所
	携帯用特殊信号発光機	(株)てつでん
	踏切用・トンネル用 LED 照明	(株)てつでん
	デジタル時素リレー（緩動形）	大同信号(株)
	レール底部用低温溶接ボンドとロウパック	信号器材(株)
	踏切しゃ断桿照明 全方位フード形	(株)三工社
	ＡＴＳ地上子使用停止カバー	(株)三工社
	電源変換器用整流器（可変形）	東邦電機工業(株)
	新型密着度測定器（ＹＤ－600Ｋ）	吉原鉄道工業(株)
	金浦都市鉄道における CBTC によるＧｏＡ４の実現	日本信号(株)
国内イベント	第６回鉄道技術展	
	第 12 回世界鉄道研究会議に出展	
	「ヨシモトポール技術展」を開催	ヨシモトポール(株)
ＱＣ情報	ＦＴＡ／ＦＭＥＡ解析	吉原鉄道工業(株)
協会の動き	令和元年下期各種行事他	

次号、「会報第 47 号」の発行は令和２年７月を予定しています。
巻頭言は(株)三工社の上田本部長を予定しています。

[８-２] 信号工業協会表彰

２０１９年度の協会表彰（信号貢献賞・功労賞）は５月 17 日の第 60 回定時社員総会終了後に表彰式が行われ、降旗会長より信号貢献賞１名、信号功労賞７社７名の方々に賞状と賞品が授与された。

信号貢献賞　１社１名			
1	今井　徹	大同信号(株)	協会理事在籍５年
信号功労賞　７社７名			
	受賞者氏名	会 社 名	部 署・役 職
1	伊藤　裕二	(株)京三製作所	信号事業部　製造部　機械課　係長
2	濱田　保治	(株)てつでん	品質保証室　担当課長
3	秋山　正幸	(株)三工社	生産本部　製造部　製造一課　課長
4	福田　節男	日本信号(株)	宇都宮事業所　品質保証部保証Ｇ　係長
5	北田　明彦	信号器材(株)	鉄道事業本部　技術開発部　次長
6	須藤　初江	東邦電機工業(株)	品質保証部　検査部
7	大久保憲司	大同電興(株)	東京事業所　工事課　担当課長

降旗会長、戸子台副会長を囲んで受章者の集合写真

[８-３] 新年賀詞交歓会の開催

日時　　令和２年１月６日（月）　16:30～18:00
会場　　ＫＫＲホテル東京　11 階大宴会場「孔雀の間」

信号工業協会恒例の新年賀詞交歓会が竹橋の KKR ホテル東京で、来賓、協会役員、叙勲受章者及び会員企業関係者など約 190 名の出席のもと盛大に開催された。

来賓として国土交通省鉄道局から大臣官房技術審議官江口秀二様、岸谷技術企画課長、技術企画課小林技術基準管理官、車両工業企画室髙瀬室長、国際鉄道技術管理室中野室長など 12 名のご出席を賜わり、また、交通安全環境研究所からは江角所長、石井理事以下計 10 名、鉄道総合技術研究所から渡辺専務理事、平栗次長、大学関係では水間東京大学大学院特任教授、中村日本大学名誉教授、運輸安全委員会の村田首席鉄道事故調査官などのご出席をいただいた。

また、令和元年の叙勲受章者では春受章の元日本信号(株)社員の伊澤勇司氏、秋受章の元(株)京三製作所社員の斉藤健一氏が出席された。

交歓会は令和元年春・秋の叙勲受章者２名の紹介、降旗会長の新年挨拶に続き、来賓を代表して江口技術審議官にご祝詞を頂き、戸子台副会長の乾杯の発声で賑やかに開催されました。暫し歓談の後、(株)一誠電機製作所　今川社長の中締めで盛会の内に終了しました。

信号工業協会降旗会長による新年挨拶

江口技術審議官のご祝辞

[８-４] ホームページの維持管理

協会ホームページは適時更新をしています。令和元年５月以降令和２年２月までに下記項目の更新を実施した。

① ヘディング画像を季節ごとに更新（春、夏、秋、冬バージョンに３か月ごと）
② トピックス最新１年間の行事に更新（写真の掲載）
③ 年度事業報告書及び決算報告書の更新
④ 協会会員名簿、役員名簿を変更(理事、監事等)
⑤ 会報第 45 号、第 46 号の PDF 化貼り付け（表紙及び目次のみ）
⑥ 会員ページの「国交省配席図」を 4.1 付、7.22 付に更新
⑦ 会員ページの「行事予定」に今後１年間の協会行事を掲載
⑧ 会員ページに令和元年度信号貢献賞・功労賞受章者の名簿と集合写真を掲載

夏バージョン(ひまわり畑とあずさ号)　東邦電機工業(株)　桑原　浩幸　氏　提供

秋バージョン（只見線）　吉原鉄道工業(株)　眞砂　和隆　氏　提供

冬バージョン　東海道新幹線(新横浜～小田原)　東邦電機工業(株)　桑原　浩幸　氏　提供

春バージョン（真岡鐵道）　日本信号(株)　奥井　伴彦　氏　提供